令和８年度　馬橋地区意見交換会のテーマについて

（団体名）　八ヶ崎第一町会

（件　名）　子ども食堂の充実化について

（具体内容）

子ども食堂は、地域のボランティアが子どもたちに、無料または安価で栄養のある食事を提供する地域交流の取り組みの一つです。子ども食堂は、食事の提供にとどまらず、孤食の解消や地域交流の場としても期待されており、子どもから高齢者まで集う地域の居場所として、松戸市内では全１５地区で５７カ所があります。

八ヶ崎子ども食堂は松戸市八ヶ崎２丁目にある「八ヶ崎会館」を開催場所として令和３年１０月に設立し、これまで毎月第一土曜日の１１時から１３時に開催しており、子どもは無料で大人は３００円で参加できる子ども食堂です。６月開催日の参加者は、子ども１８人、大人３８人の計５６人と、松戸市内でも多くの参加者がいる子ども食堂の一つです。

運営スタッフは現在１４名で、準備から片付けまで９時から１６時の７時間活動しており、全員が検便を実施するなど衛生面に気を付けながら、手作りで季節にあったメニューを提供しています。

運営費については、市からの補助金１回あたり１万円、年間１２万円のみで、その他に「とうかつ草の根フードバンク」や近隣のコメ農家からの食材寄付をいただいておりますが、参加人数を考慮すると運営は非常に厳しい状況となっております。

また、スタッフの高齢化も課題の一つであり、今後担い手を増やしていかなければなりません。

子ども食堂が担う役割を考えると、事業の継続と今後さらなる拡充を図る必要があるため、実態に即した補助金のあり方の検討や増額、参加者や担い手を増やすため利用者の声や活動内容を発信していくような広報支援をお願いしたい。

町会としても事業の継続にどのように関わっていくのか更なる模索を検討していきます。市として子ども食堂の活動にさらに光を当てていただきたいと思います。

（回　答）

ご要望をいただいた２点のうち、１点目の「実態に即した補助金のあり方の検討や増額」についてですが、現在、松戸市で支給している松戸市子ども食堂新規開設・運営支援補助金については、松戸市子どもの未来応援基金を原資としており、財源に限りがございます。可能な限り多くの団体に、長く補助金を支給するためには、一団体あたりの支給金額を増額することは難しい状況です。

なお、子ども食堂を支援する団体においては、社会貢献活動の一環として助成金や食材の提供を行っております。本市にもそのような案内が届くことがあり、市内の子ども食堂に対してメールで案内を展開し、可能な限り申請に向けたアドバイスをさせていただきますので、ご活用いただければと存じます。

２点目の「参加者や担い手を増やすため利用者の声や活動内容を発言していくような広報支援」につきまして、現在も松戸市公式ホームページやLINEにて、掲載希望のあった子ども食堂の開催情報等を掲載しております。ご希望があれば八ケ崎子ども食堂の開催情報や人材募集についても掲載することが可能となっておりますので、内容や掲載時期等についてご相談いただければと存じます。

（回答課）子ども居場所課